

## 2020年度 福井県バレーボール協会 強化方針

強化委員会

### 1. 鹿児島国体に向けた強化

#### ①少年の部

目 標  
強化内容

ベスト4

高校総体兼国体予選会優勝チームを中心に、強化に取り組む。全国トップの高校やVリーグチームとの強化合宿・試合を積極的にこなし、心技体にわたり効果的な強化活動を展開する。

#### ②成年の部

(男 子)

目 標  
強化内容

北信越国体突破

国体予選会を開催し、県選抜チームを編成する。併せてふるさと選手を加えて強化に取り組む。県外国体チームやVリーグチームとの強化合宿・試合を積極的にこなし、全国大会での結果を積み上げる。

(女 子)

目 標  
強化内容

北信越国体突破

福井クラブ(成年アスリート)を県選抜チームとして国体予選会に出場し、優秀選手、ふるさと選手を加えて強化に取り組む。県外国体チームやVリーグチームとの強化合宿・試合を積極的にこなし、全国大会での結果を積み上げる。

#### ③ビーチの部

目 標  
強化内容

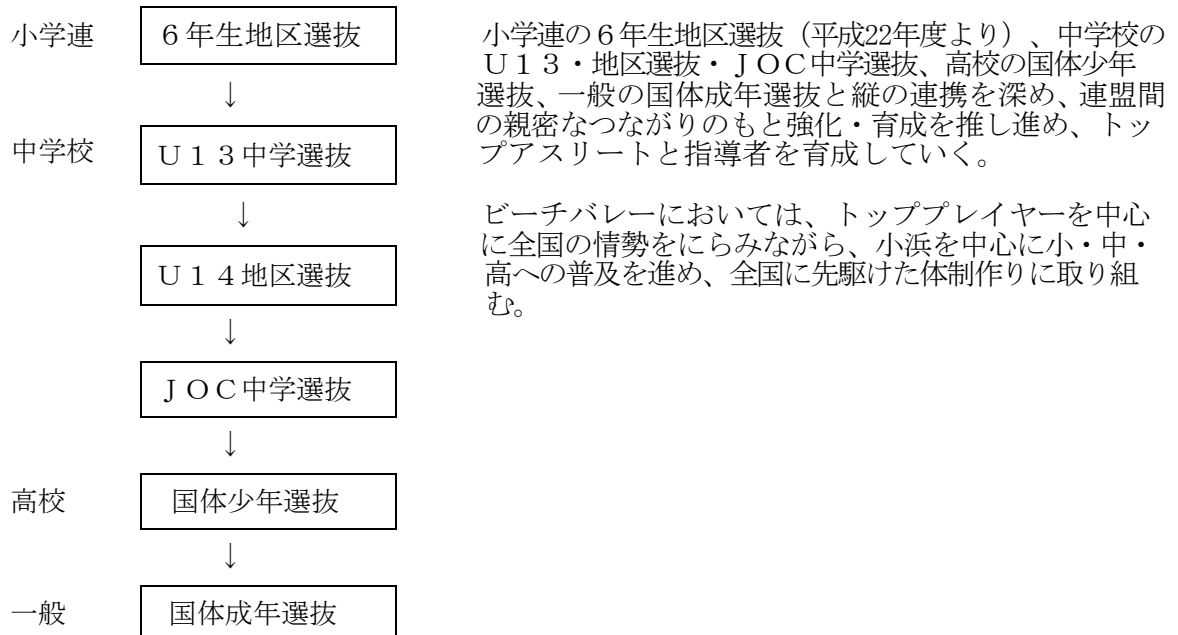
ベスト4

国体予選会優勝チームを県代表チームとして、強化に取り組む。オーイング選手の指導を仰ぎながら強化合宿・試合を積極的にこなし、全国大会での結果を積み上げる。

#### ④選手強化本部にスーパーアドバイザーを配置

中垣内 祐 一 氏	日本代表監督
荻野 正 二 氏	サントリーサンバーズ監督
藤田 幸 光 氏	京都橘大学女子バレーボール部監督
村上 めぐみ 氏	日本代表選手 (株)オーイング所属
幅口 絵里香 氏	(株)オーイング所属

### 2. 福井型指導者・競技者育成一貫システム



# ビーチバレーボール競技（少年種別）強化年間計画

## 1. 競技力向上に向けた環境整備

「ふくいビーチバレーボールクラブ」練習会を年間通して継続していきます。

嶺南のチームは若狭鯉川シーサイドパーク、嶺北のチームは三国サンセットビーチを会場に継続した専門的な指導が受けられる環境を整えます。

5月の予選会後は、優勝・準優勝したチーム・選手を第2期強化指定とし、毎週日曜日に、練習会及び県外遠征を行い、本県チームを全国トップレベルに引き上げる競技環境を整えていきます。

## 2. 福井しあわせ元気国体会場の有効活用

小浜市と連携し、福井国体の会場となった鯉川海水浴場にある屋内外常設コートを、地元にも根ざした強化拠点として有効に活用していきます。

## 3. ジュニア世代の有望選手の発掘、育成、強化

中学生・高校1年生の年齢層を中心とした練習生を募集していきます。

2019年8月～9月のビーチバレーシーズンに開催された全国大会に出場した高校生選手が、1月の全日本バレーボール高等学校選手権大会（春の高校バレー）で活躍を見せていました。全国的にインドアの強豪校が、ビーチバレーボール競技代表として国体や全国大会に出てくる機会は、今後増えていくと思われます。

そのため、県高体連・県内各中・高校顧問、クラブチームの協力を得て、県内トップレベル選手、それに準じる選手を育成し、競技レベルの底上げを図ります。強化指定選手と競わせながらジュニア世代の将来性豊かな有望選手の発掘・育成・強化に一体的に取り組めます。

年間を通して小・中・高校生を対象とした体験会を開催します。連盟ホームページをより充実させ、募集について県内に幅広く情報発信していきます。

本県ゆかりのトップアスリートを招へいし、その魅力にふれ合うことでビーチバレーボール競技の興味・関心を一層高めていきます。また、小浜会場・三国会場でビーチバレーボール競技ができる環境が「身近にある」ことを周知していきます。

## 4. スーパーアドバイザーによる本県チームへのプラス効果

長年に渡り、第一戦で活躍してきた本県選手からプレーする姿勢や取り組み方を間近に触れることにより、選手がその技術や知識を学ぶことができ、国体や全国大会に向けての強化および有力な選手の発掘や育成を行う上で、より詳細な適正評価を受ける機会が得られます。

国内の最新情報の収集や効果的な練習方法、疲労の取り方、調整の仕方などについて自らの経験を選手に伝え、選手のコンディションや心理面を向上させるなどアドバイスを提供するきめ細かなサポート体制を構築していきます。また、県内指導者も指導方法を学び、スキルアップできる機会とします。